

2020 年 IEEE Sapporo Section 総会

2020 IEEE Sapporo Section Annual Meeting

2020 年 IEEE Sapporo Section 第 1 回理事会

2020IEEE Sapporo Section 1st Executive Committee Meeting

1. 日時: 2020 年 2 月 17 日(Mon) 16:00-18:00
2. 場所: 北海道大学情報科学研究院棟 11F 大会議室
3. 議題:
 - 1) [総会審議] 2019 年総会議事録 (第 1 回理事会と同時開催) 資料 01
 - 2) [理事会確認] 2019 年第 2 回理事会議事録 資料 02
 - 3) [理事会確認] メール審議事項確認 資料 03
 - 4) [理事会確認/総会確認] 各理事の分担確認
 - 2019-2020 Executive Committee Members 資料 04
 - ✓ Affinity Group/Student Branch
 - IEEE Sapporo Section Bylaws 資料 05
 - IEEE Sapporo Section Bylaws 概要 資料 06
 - 5) [理事会審議/総会報告] 2019 年事業報告 資料 07
 - Annual report 資料 08
 - 6) [理事会審議/総会報告] 2019 年決算報告 資料 09
 - 7) [理事会審議/総会報告] 2020 年事業計画 資料 10
 - 8) [理事会審議/総会報告] 2020 年予算案 資料 11
 - 9) [理事会審議] 学生員奨励事業について 資料 12
 - 10) [理事会報告] 2020 年 第 3 回 Japan Council 理事会報告 資料 13
 - Japan Council 理事会議事録: <https://ieee-jp.org/activity/cgiji.html>
 - 11) [総会] IEEE Sapporo Section Student Awards 表彰式 資料 14
 - IEEE Sapporo Section The 2019 Best Paper Award 受賞者
 - IEEE Sapporo Section The 2019 Student Paper Contest 受賞者

以下余白

2019 年 IEEE Sapporo Section 総会

2019 IEEE Sapporo Section Annual Meeting

2019 年 IEEE Sapporo Section 第 1 回理事会

2019 IEEE Sapporo Section 1st Executive Committee Meeting

議事録

1. 日時: 2019 年 2 月 7 日(Thu) 17:00-18:00
2. 場所: 北海道大学情報科学研究科棟 5F 中会議室
3. 出席者(30 名):
理事会メンバ(9 名): 大鐘 武雄, 西村 寿彦, 宮永 喜一, 齊藤 晋聖, 大宮 学,
荒木 健治, 藤野 雄一, 浅井 哲也, 五十嵐 一
受賞者(7 名): 前田 圭介, 豊田 陽, 菊池 雄大, 滝村 祥司, 飯沼 大樹, 富岡 瞬, Xu
Jianwen (Liangzhi Li 代理)
北大 SB(5 名): 山田 健太郎, 露口 颯, 渡辺 大詩, 平山 茉莉子, 川幡 知孝
一般(9 名): ミハウ・プタシンスキ, 董 冕雄, 筒井 弘, Zhang Chaofeng, Wuyunzhaola,
Tang Zujun, Peng Xiting, Zhang Xiaoyu, Zhao Li
4. 議題/スケジュール:
 - 1) 2019-2020 Sapporo Section Chair 挨拶
 - 2) Senior Member に昇格されたミハウ・プタシンスキ先生挨拶
 - 3) [総会審議] 2018 年総会議事録 資料 01
➤ 総会: 前回議事録が確認, 承認された.
 - 4) [理事会審議] 2018 年第 2 回理事会議事録 資料 02
➤ 理事会: 前回議事録が確認, 承認された.
 - 5) [理事会確認] メール審議事項確認 資料 03
➤ 理事会: メール審議事項が確認された.
 - 6) [理事会確認/総会確認] 各理事の分担確認 資料 04-06
➤ 理事会/総会: 各理事の分担確認, Bylaws が確認された.
➤ 総会: 新体制を確認した.
 - 7) [理事会審議/総会報告] 2018 年事業報告 資料 07-10
➤ 理事会: 事業報告および Annual report が確認, 承認された.
➤ 総会: 事業報告が行われた.

8) [理事会審議/総会報告] 2018 年決算報告

資料 11

- 理事会: 決算報告が確認, 承認された.
- 総会: 決算報告が行われた.
- 理事会/総会:
 - ✓ 講演会費(講演者に対する謝金)が 12 回の講演会が行われたのに対し少額ではないかとの指摘があった. IEICE Hokkaido Section との共催が多かったためこの様になっている旨 2018 Secretary より説明が行われた.
 - ✓ 学生活動支援が端数になっている理由に関して質問があった. 学生の初年度会費(USD 27 or 13.5)の JPY 換算額を支払っているためである旨 2018 Secretary より説明が行われた.
 - ✓ NVMSA 2018 関連の項目が決算報告に含まれていない理由について質問があった. NVMSA 2018 の会計が閉じられていないためである旨 2018 Secretary より説明が行われた.

9) [理事会審議/総会報告] 2019 年事業計画

資料 12

- 理事会: 事業計画を確認, 承認した.
 - ✓ 例年通りの事業については Chair, Secretary, Treasurer の判断により予算執行可能とし, 予算執行が一任された. 例年とは異なる事業ならびに判断に迷う場合は都度理事会で審議することとした.
- 総会: 事業計画に関して報告が行われた.
- 理事会/総会:
 - ✓ 学生員奨励事業がどの程度周知されているのかについて質問があった. 会員向けにメールにて広報しているが, 入会前の学生には当然メールは配信されないため, 指導教員等 IEEE の既存メンバから学生への働きかけが必要である旨 2018 Secretary より説明があった.
 - ✓ 講演会での旅費支給に関して, ここ数年実施例がない旨指摘があり, 広報の可能性について議論した. メール配信等で広報すると旅費支給を含む講演会企画が増えすぎる懸念もあり, 現状どおり理事会メンバ(および総会参加者)を中心に企画を検討することとした. また, IEICE 等国内他学会との関係もあり, IEEE 単独での旅費支給講演会の機会自体あまりないのではなかろうかとの意見もあった.

10) [理事会審議/総会報告] 2019 年予算案

資料 13

- 理事会: 予算案が確認, 承認された.
- 総会: 予算に関して報告が行われた.

11) [理事会審議] 学生員奨励事業について

資料 14

- 理事会: 学生員奨励事業について確認, 承認された.
 - ✓ 前年入会分について学生活動支援が適用可能であるかについて議論が行

われた。申請時点で IEEE 会員であれば初年度分について学生活動支援が可能であることが確認された。

- 総会：学生員奨励事業について実施する旨報告が行われた。

12) 他

- 理事会/総会：室蘭工業大学にて Student Branch の設立を準備中(Petition 提出済み)であることが報告された。
- 理事会：室蘭工業大学 Student Branch 設立記念イベント、北大 Student Branch との交流会等今後企画予定である。交流会等については、定常的な活動となるまでは Section として予算措置はせず、企画毎に都度予算からの支出を理事会にて審議することとした。
- 理事会：監査報告が行われていない旨指摘があった。
2017, 2018 は監査未実施であるが、IEEE や JC からの指摘はなく、その観点で運用上問題とはなっていない旨 2018 Treasurer から現状報告があった。財政健全性の観点から、Sapporo Section として監査を実施した方が良い旨指摘があった。

13) [理事会報告] 2018 年 第 3 回 Japan Council 理事会報告

- 理事会/総会：宮永 2018 Chair より報告があった。

14) [総会] IEEE Sapporo Section Student Awards 表彰式

資料 15

- 総会：表彰式を挙行了した。

以下余白

以下余白

議事録（案）

2019 年 IEEE Sapporo Section 第 2 回理事会

IEEE Sapporo Section 2019 2nd Executive Committee Meeting

1. 日時: 2019 年 11 月 10 日 (Sun) 12:15-13:30
2. 場所: 室蘭工業大学 教育・研究 3 号館 (N 棟) 3 階 N307 室
3. 出席者(9名): 大鐘武雄 (Chair), 西村寿彦 (Secretary/Treasurer), 大宮学 (SA Chair), 藤野雄一 (Pub. Chair), 元木邦俊, 鈴木幸司 (TP Chair), 筒井弘 (宮永喜一 Award Chair 代理), 小川貴弘 (長谷山美紀 Vice Chair 代理), 徐建文 (室工大 SB Chair, Student Representative)
4. 議題:
 - 1) [審議] Student Representative の投票権について 資料 01
本理事会から Student Representative が理事会に参加することとなり, 議決権について審議が行われた (この間徐建文君は退席). 審議の結果, 選奨に関わる議事を除き, 投票権を付与することとした.
 - 2) [審議] 2019 年第 1 回理事会および総会議事録確認 資料 02
提案の通り承認された.
 - 3) [審議] 2019 年 IEEE 札幌支部若手研究者年間優秀論文賞について 資料 03
被推薦者資格である 2018 年内の IEEE 論文と国際会議の業績に基づいて下記の通り受賞者を決定した.
最優秀論文: Jianwen Xu (論文筆頭著者 2 件, 国際会議筆頭 1 件)
奨励論文: Keisuke Maeda (論文筆頭著者 1 件, 共著 1 件, 国際会議共著 1 件), Shohei Kawai, Akino Koda, Yusuke Sawada (3 名とも論文筆頭著者 1 件)
 - 4) 2019 年事業中間報告 資料 04
資料に従って説明があり, 以下の来年の修正事項を含め承認された.
 - ・ Student Member に対する学会発表支援は国外開催のものに限られていたが, 2020 年から IEEE 主催であれば国内外は問わないこととする.
 - ・前記学会発表支援の内容中「Registration Feeの一部を補助する」という文言を, 2020 年から「当該学会発表に伴う経費の一部を補助する」と変更する.なお, 以下の質問があった.
 - ・学生への学会活動補助は, 十分に告知されているのか?

→ 年 2 回札幌支部の会員全員宛てにメールにより告知している

・会員数増強のための施策で、「新入会 Student Member に対する学会活動支援：現在 19 名」とあるが、正しくは「新入会 Student Member に対する学会活動支援：現在 26 名」であった。

5) 2019 年予算執行状況中間報告

資料 05

資料の通り認められた。なお、学生補助事業はすでに予算を超過しているが、今後とも継続して行うことが了承された。

6) [審議] 2020 年予算案

資料 06

学生の入会者数が増加傾向であり SB も増えたことから、学生活動費を増加させること、その赤字補填のために昨年共催した NVSMA の黒字分の一部を使用することが提案され、了承された。また、前記黒字分の費途については今後継続して検討することとなった。

7) IEEE Officer Terms & Succession Planning について

資料 07

資料に基づいて説明があり、2021 年の役員改選時には同一ポジションを 6 年以上継続しないことが確認された。加えて、小川代理理事から WIE の Chair についてもすでに準備が進められているという補足があった。

8) メール審議事項報告

資料 08

資料に基づいて報告があった。

9) R10 Meeting (3 月 Sydney, Australia) 報告

資料 09

資料に基づいて説明があった。

なお、YP 設立の打診があったことについて、下記の議論があった。

- ・大学院生は YP の構成員としてカウントできるので、発足する人員数は満足できるだろう。
- ・その場合、学生会と YP の活動の両方となり負担が増えることが懸念される
- ・若手教員を主体とするのが良い→人数の調査が必要なため、西村幹事が確認する

10) Japan Council 理事会報告

資料 10

資料に基づいて説明があった。

(第 1 回)

- ・ Student Activities Committee

参加者の SB への派遣効果を高める活動を今後行う

- ・ LMAG

会員累積年数を撤廃し、一定の年齢で AG に参加できるようにすることが議論されている

- ・ TENCON2020

大阪で開催され、各支部も主催となることが説明された。

- ・ R10 Meeting

Region 構成の見直しが検討されている旨説明があった

(第 2 回)

- ・ Section 支援費

申請・報告時に、見込まれる効果・目的の達成度を記載すること、および、費用は JC と Section が折半することを明文化することとなった

- ・ TENCON2020

韓国開催時の様子が報告された。併せて、大宮 SA Chair から TENCON2018 (韓国)、徐 室工大 SB Chair から TENCON2019 (インド) について簡単な報告があった。

11) IEEE MAW 2019 等報告

資料 11

MAW について報告があった。来年は広島開催が予定されており、2021 年には札幌開催の可能性が高い旨の説明があった。

LMAG について、藤野 Pub. Chair より、札幌支部設立への依頼があったこと、設立に向けて代表者の選定等の準備をする必要があること、LMAG 設立シンポジウムの開催は MAW と同時が好ましいこと等の補足説明があった。

12) その他報告

資料 12

HC 委員の交代については、今後メールで審議することとなった。

※資料訂正：HC の委員履歴に記載間違いがあった。正しくは以下の通り（下線部が修正箇所）

2006－2010：大宮先生（北大）

2011－2012：長谷川先生（室工大）

2013－2020：柏先生（北見工大）

2021－：藤野先生（ほこだて未来大）

以下余白

メール審議事項報告

1. [メール審議] 2019 年環境電磁工学国際シンポジウム(EMC Sapporo & APEMC 2019) 協賛
 - 2019/01/18 開始
 - 開催期日 : 2019 年 6 月 3 日(月)~2019 年 6 月 7 日(金)
 - 開催会場 : 札幌コンベンションセンター
 - 結果: Approval (2019/1/24 17:00)

2. 【IEEE 札幌支部理事会】メール審議: 講演会の会場費の供出について
 - 2019/09/18 開始
 - IEEE ComSoc Sapporo/Shinetsu/Tokyo/Nagoya/Shikoku/Hiroshima/Fukuoka Joint Sections Chapter より、北大開催の講演会で共催し、会場費を供出することについて（北大: [齊藤先生](#)経由のご依頼）
 - 大鐘 Chair「会場費の供出は規定・前例はないが、Distinguished Lecture では講演謝金が不要であり、金額もそれほど多くない（謝金をお支払するより少ない）ので、理事会にお諮りしてご異論いただかなければ、供出する」
 - 結果: Approval (2019/9/24 12:00)

3. TENCON2020 に関する支部への協力依頼について
 - 2019/12/6 開始
 - (1) 会計責任分担の 30%は R10 が負担。残り 70%はホスト支部が負担。この 70%を日本内の 9 つの支部で等分に負担することを提案
 - (2) Japan Sections Supporting Committee 委員の選出
 - 結果: (1) Approval (2019/12/11 17:00)
(2) 理事会リエゾン 西村寿彦教授（北海道大学）
SYWL リエゾン 筒井弘准教授（北海道大学）

4. [IEEE Sapporo Section メール審議 2/9 正午まで] 「2019 年 IEEE 札幌支部 Student Paper Contest」表彰候補者について
 - 2020/02/06 開始
 - 連合大会の表彰である「若手優秀論文発表賞受賞者」と「電気学会表彰者」を除く 3-10 名の学生を対象に、次の 2 種類の表彰候補者を提案
 - Best Presentation Award (3 名)、Encouraging Prize (7 名)
 - 結果: Approval (2020/2/9 12:00)

以下白紙

2019–2020 Executive Committee Members

- Chair: 大鐘 武雄 (北海道大学 教授)
- Vice Chair: 長谷山 美紀 (北海道大学 教授)
- Secretary/Treasurer: 西村 寿彦 (北海道大学 准教授)
- Auditor: 真田 博文 (北海道科学大学 教授)
- Auditor: 五十嵐 一 (北海道大学 教授)

Standing Committee Chairs

- Fellow Nomination: 齊藤 晋聖 (北海道大学 教授)
- Membership Development: 柏 達也 (北見工業大学 教授)
- Student Activities: 大宮 学 (北海道大学 教授)
- Publications: 藤野 雄一 (はこだて未来大学 教授)
- Nominating: 荒木 健治 (北海道大学 教授)
- Technical Program: 鈴木 幸司 (室蘭工業大学 教授)
- Award: 宮永 喜一 (北海道大学 教授)

Other Executive Committee Members:

- 元木 邦俊 (北海学園大学 教授)
- 吉本 直人 (千歳科学技術大学 教授)
- 浅井 哲也 (北海道大学 教授)

2019 Student Representative:

- 徐 建文 (室蘭工業大学 博士3年、室工大 SB 2019 Chair)

2020 Student Representative:

- 川幡 知孝 (北海道大学 修士1年、北大 SB 2020 Chair)

Affinity Group/Student Branch/Others

IEEE Sapporo Section Women in Engineering (WIE) Affinity Group, 2019-2020

- Chair 長谷山 美紀 (北海道大学 教授)
- Treasurer 竹沢 恵 (北海道科学大学 教授)

Japan Council History Committee (JCHC) Member from Sapporo Section, 2019-2020

- 柏 達也 (北見工業大学 教授)

IEEE Hokkaido University Student Branch, 2020 Officers (2020 Jan-Dec)

- Chair 川幡 知孝 (北海道大学 修士 1 年)
- Vice-Chair 福崎 卓人 (北海道大学 修士 1 年)
- Treasurer 八杉 拓哉 (北海道大学 学部 4 年)
- Secretary 稲葉 春樹 (北海道大学 修士 1 年)
- Counselor 筒井 弘 (北海道大学 准教授)

IEEE Muroran Institute of Technology Student Branch, 2020 Officers (2020 Jan-Dec)

- Chair Xiting Peng (室蘭工業大学 博士 3 年)
- Vice-Chair Zujun Tang (室蘭工業大学 博士 2 年)
- Secretary Xiaoyu Zhang (室蘭工業大学 Visiting Student)
- Treasurer Chaoyang Li (室蘭工業大学 Visiting Student)
- Webmaster Zhen Zhen (室蘭工業大学 修士 1 年)
- Counselor 董 冕雄 (室蘭工業大学 教授)

The Institute of Electrical & Electronics Engineers, Inc.

Sapporo Section Bylaws

Nothing in these Bylaws is to be construed as to be contrary to the IEEE Bylaws, Constitution and Policy and Procedure.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Sapporo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Sapporo Section.

2. The territory of the IEEE Sapporo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be Hokkaido (Postal codes 001 through 009, and 040 through 099), Japan.

Article II - Officers and Auditors

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined. Two Auditors shall be elected by the Sapporo Section membership.

2. The terms of office of the elected officers and auditors shall be for two (2) years.

3. The terms of office will begin on January 1, but in any case the outgoing Officers and Auditors will continue until their successors are duly elected and take office.

4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.

5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years except when the extension and written reasons therefore have been approved by Regional Director and the Regional Activities Board.

6. The duties of the Section Officers shall be as described in the IEEE Bylaws and in the IEEE Section Operations Guide.

Article III - Standing Committee

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:

Fellow Nominating Committee

Membership Development Committee
Nominating Committee
Technical Program Committee
Publications Committee
Student Activities Committee

2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the Section Chair's end-of-term date.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will expire on the Section Chair's end-of-term date.
4. Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

Article IV - Management

1. The management of the Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the Section Officers, Past Section Chair, Chairs of the Standing Committees, such other members appointed by the Section Executive Committee, and such other members appointed by the Section Chair, however, the number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19).
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least twice a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year for the Section shall be the calendar year.

Article V - Nomination and Election of Officers and Auditors

1. The Nominating Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.

3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations by August 31
Close nominations by petition by September 30
Mail a ballot, if required by October 31
Hold elections by November 30

5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

1. In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Sapporo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendments to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds (2/3) majority vote of the Section Executive Committee.
3. In the event of a conflict between these Bylaws and IEEE Bylaws, the IEEE Bylaws will prevail.

以下余白

IEEE Sapporo Section Bylaws 概要

Sapporo Section の範囲(I-2): 北海道

Section Officers(支部役員)(II-1): Chair(支部長)
 Vice Chair(副支部長)
 Secretary/Treasurer(幹事・会計, 1人で兼務可)
 Auditor(監事, 2名)

- ・ 任期は, 当該年の1月から2年間で, 選挙による.
- ・ 1つの役職に連続で就任可能なのは最大3年(MGA Operations Manual では4年)
- ・ 1つの役職に就任可能なのは合計6年まで(MGA Operations Manual)

Standing Committees(常置委員会)

- ・ 札幌支部の Bylaws に明記されている常置委員会は下記の通り(III-1)
 - Fellow Nominating Committee(Fellow 候補者の推薦)
 - Membership Development Committee(入会案内書配布など, 会員増を図る)
 - Nominating Committee(3名以上で構成, 次期支部役員候補者の推薦)
 - Technical Program Committee(講演会の企画実施)
 - Publications Committee(情報周知, ホームページ開設・管理)
 - Student Activities Committee(学生への対応)
- ・ 各常置委員会の委員長(Chair, 任期は支部長と同じ)は支部長が任命し, Section Executive Committee(支部理事会)が承認(III-2)
- ・ 各常置委員会の委員長がそれぞれの委員を任命し, 支部理事会が承認(III-3)

Section Executive Committee(支部理事会)が支部のマネージを行う(IV-1)

- ・ 支部理事会の構成は下記の通り(IV-1)
 - 支部役員(支部長, 副支部長, 幹事・会計)
 - 前支部長
 - 常置委員会委員長
 - 支部理事会が指名した者
 - 支部長が指名した者
- ・ 支部理事は19名を越えてはならない(IV-1)
- ・ 定足数は過半数(IV-2)
- ・ 出席者の過半数により議決(IV-3)
- ・ 1年に最低2回開催(IV-4)

選挙規定

- ・ Nominating Committee は支部役員(支部長, 副支部長, 幹事・会計), 監事候補者の公告を行う(28日間)(V-2)
- ・ 追加候補者がなければ, 選挙を実施することなく, 総会で決定できる(V-3)
- ・ 総会には定足数の規定なし

公告	8 月 31 日までに開始
候補者追加締め切り	9 月 30 日まで
選挙の場合の投票用紙郵送	10 月 31 日まで
選挙実施	11 月 30 日まで

札幌支部の規定では選挙により選出されるのは、支部役員、監事となっているが、本部新 **Bylaws** では、理事会メンバーの過半数は会員による選挙により選ばれた者とあるので役員に加え、できる限り、理事も公告に記載すべきとの指摘があった。

会計

- ・ 全ての支出は支部理事会で承認されなければならない(VII-1)

2019 年事業報告

1. 第 1 回理事会・総会(1st Section Executive Committee Meeting)

この会より、同時開催となった

- 日時: 2019 年 2 月 7 日(Thu) 17:00-18:00
- 場所: 北海道大学情報科学研究科棟 5F 中会議室

2. 第 2 回理事会(2nd Section Executive Committee Meeting)

- 日時: 2019 年 11 月 10 日(Sun) 12:15-13:15
- 場所: 室蘭工業大学 教育・研究 3 号館(N 棟) 3 階 N307 室

3. 共催事業

- 令和元年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会
 - ✓ 日程: 2019 年 11 月 9 日・10 日
 - ✓ 場所: 室蘭工業大学 教育・研究 3 号館(N 棟)
 - ✓ URL: <https://www.ieice.org/hokkaido/shibukai2019/>

4. 主催事業

- IEEE 札幌支部若手研究者年間優秀論文賞の選定
 - ✓ IEEE 札幌支部の学生会員、若手研究者の研究意欲の向上、学生会員・正会員数の増加、支部活性化などを目的として、昨年 1 年間に発表された論文 (IEEE が発行する論文誌やジャーナルなどに掲載された学術論文、または IEEE 主催・共催の国際会議で発表され英文プロシーディングスなどに掲載された論文) の中から、優秀な論文を発表した若手研究者を顕彰する (2019 年 9 月 30 日公募締切, 2020 年総会時に表彰式挙行予定).
 - ✓ 最優秀論文 1 件、奨励論文 4 件を選定
- IEEE 札幌支部 Student Paper Contest の開催
 - ✓ 令和元年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会において、優秀な発表を行った学生を表彰する(3 名-10 名). (2020 年総会時に表彰式挙行予定).
 - ✓ Best Presentation Award 3 件、Encouraging Prize 7 件を選定

5. 会員数増強のための施策 (Student Member に対する奨励事業)

- 新入会 Student Member に対する学会活動支援: 47 名
- Student Member に対する学会発表支援 (国外で開催される IEEE 主催国際会議): 1 件

6. 講演会開催

- 学術講演会 (2019 年 2 月 15 日 (金)@北海道大学)
電子情報通信学会北海道支部, IEEE Sapporo Section 共催
Title: An Overview of Software Defined Networks and My Research Topics
Lecturer: Dr. Justin Lipman, Associate Professor
School of Computing and Communications, University of Technology, Sydney
- 学術講演会 (2019 年 5 月 17 日 (金)@室蘭工業大学)
Title: 5G Mobile Edge Computing: Research Roadmap of the H2020 5G-Coral Project
Speaker: Prof. Ying-Dar Lin, IEEE Fellow
National ChiaoTung University, Hsinchu, TAIWAN

- 学術講演会 (2019 年 6 月 24 日 (月), 25 日 (火))@北海道大学)
IEEE Sapporo Section WIE 共催
Title: Turbo Equalization; Its Information Theoretic Analysis and Relation to Lossy Forward Relaying Multi-Terminal Source Coding Systems
Speaker: Prof. Tad Matsumoto
Japan Advanced Institute of Science and Technology, Japan,
Center for Wireless Communications, University of Oulu
Title: Lossy Communications with Lossy-Forward Relaying and Lossy Coding
Speaker: Lin Wensheng
Japan Advanced Institute of Science and Technology, Japan
- 学術講演会 (2019 年 8 月 2 日 (金))@室蘭工業大学)
Title: Privacy and Trust Issues in Vehicular Networks
Lecturer: Dr. Priyadarsi Nanda, Associate Professor
School Head of Electrical and Data Engineering, University of Technology, Sydney
- 学術講演会 (2019 年 8 月 27 日 (金))@室蘭工業大学)
Title: 5G Mobile Networks – Technologies and Challenges
Lecturer: Prof. Abbas Jamalipour
Professor of Ubiquitous Mobile Networking School of Electrical and Information Engineering, The University of Sydney, Australia
- 学術講演会 (2019 年 11 月 19 日 (火))@北海道大学)
IEEE ComSoc Sapporo/Shinetsu/Tokyo/Nagoya/Shikoku/Hiroshima/Fukuoka Joint Sections Chapter 共催
Title: The Evolution of Data Center Network Architectures
Lecturer: Prof. Suresh Subramaniam
George Washington Univ.
- 学術講演会 (2019 年 11 月 25 日 (月))@北海道科学大学)
主 催: 電子情報通信学会北海道支部学生会、後 援: IEEE 札幌支部 WIE
Title: クルマの大変化” CASE” (繋がる/自動運転/シェア/電動化)をバズらずに掘り下げてみよう
Lecturer: 株式会社デンソー 先進モビリティ戦略室
博士 (工学) 高橋 輝 氏

7. 国際会議 TCS, FCS

- (1) 2018 年 8 月 28 日～31 日に函館で開催された The 7th IEEE Non-Volatile Memory Systems and Applications Symposium (NVMSA) 2018 に対して, Financial Co-Sponsor となった (General Co-Chair の東工大 遠藤先生からの依頼: 予算規模 1300 万円, 負担 50%, 残りは IEEE Council on Electronic Design Automation) が黒字になり 2019 年 3 月 4 日に 1,102,205 円の振込あり (手数料 1,500 円差引後)
- (2) 「2019 Joint International Symposium on Electromagnetic Compatibility and Asia-Pacific International Symposium on Electromagnetic Compatibility (EMC Sapporo & APEMC 2019)」に協賛
日時: 2019 年 6 月 3 日 (月)–7 (金)

場所：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）

(3) 「The 26th International Display Workshops (IDW '19)」に協賛

日時：2019 年 11 月 27 日（水）–29（日）

場所：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）

8. その他

- R10 Meeting への参加 2019 年 3 月（西村 Secretary/Treasurer）
- 第 1 回 JC 理事会への参加 2019 年 4 月（大鐘 Chair）
- 第 2 回 JC 理事会への参加 2019 年 7 月（大鐘 Chair）
- 室蘭工業大学の Student Branch Kick Off Event 開催 2019 年 8 月
- IEEE MAW 2019 への参加 2019 年 10 月（大鐘 Chair、藤野 Pub. Chair）
- Japan SYWL Workshop, LMAG 設立イベントへの参加 2019 年 10 月（藤野 Pub. Chair）
- 第 3 回 JC 理事会への参加 2019 年 12 月（大鐘 Chair）

以下余白

以下余白

IEEE Sapporo Section Annual Report 2019

February 17, 2020

PART A - SECTION SUMMARY

A.1 Executive Summary

- Section Executive Committee Member List
 - Chair: Takeo Ohgane
 - Vice Chair: Miki Haseyama
 - Secretary/Treasurer: Toshihiko Nishimura
 - Auditors: Hirofumi Sanada, Hajime Igarashi
 - Chair of Fellow Nomination Committee: Kunimasa Saitoh
 - Chair of Membership Development Committee: Tatsuya Kashiwa
 - Chair of Student Activities Committee: Manabu Omiya
 - Chair of Publications Committee: Yuichi Fujino
 - Chair of Nominating Committee: Kenji Araki
 - Chair of Technical Program Committee: Yukinori Suzuki
 - Chair of Award Committee: Yoshikazu Miyanaga
 - Other Executive Committee Members: Kunitoshi Motoki, Naoto Yoshimoto, Tsuyoshi Yamamoto
 - Student Representative: Jianwen Xu
- Major Events (International, National)
 - 7 technical meetings were delivered.
 - We co-sponsored a domestic conference named 2019 Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers which was held at Muroran Institute of Technology, Muroran, Hokkaido, Japan.
 - We supported 2019 Joint International Symposium on Electromagnetic Compatibility and Asia-Pacific International Symposium on Electromagnetic Compatibility (EMC Sapporo & APEMC 2019) which was held at Sapporo Convention Center, Sapporo, Hokkaido, Japan.
 - We supported the 26th International Display Workshops (IDW '19) which was held at Sapporo Convention Center, Sapporo, Hokkaido, Japan.
- Major Student and Affinity Group Activities
 - Muroran Institute of Technology Student Branch was established. Kick Off Event was held at Muroran Institute of Technology, Muroran, Hokkaido, Japan.
 - Hokkaido University and Muroran Institute of Technology Student Branches organized one special networking session in Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers to exchange their experiences in university life. This session was co-organized with IEICE Hokkaido University Student Branch.
 - Sapporo Section WIE organized two lectures.
- Awards
 - We organized the following two types of student awards
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Contest
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Awards
 - 2019 Award ceremony was held in conjunction with 2020 Sapporo Section annual meeting.

A.2 Financial Report

- Summary (as per submitted on NetSuite)
 - Income: JPY 1,937,087
 - 3.10 - Rebate from IEEE HQ JPY 380,100
 - 3.16 - Region 10 Assessment JPY 454,763
 - 3.XX - Rebate from NVMSA2018 JPY 1,102,205
 - 3.45 - Non-IEEE CB Account Interest JPY 19
 - Expense: JPY 922,724
 - 4.10 - Meetings & Social Events Expense JPY 31,338
 - 4.60 - Educational Activities Expense JPY 103,512
 - 4.80 - Student Activities Expense JPY 299,634
 - 4.90 - Other Program Expenses JPY 50,000

- 5.20 - Travel Expense JPY 48,760
- 5.50 - Support to Sections/Chapters Expense JPY 386,324
- 5.60 - Other Management & General Expenses JPY 3,156
- Cash on Hand at Beginning of Year: JPY 1,547,195
- Cash on Hand at End of Year: JPY 2,561,558

PART B - ORGANIZATIONAL ACTIVITIES

B.1 Membership Development Activities

- Total number of active members in the past 3 years.
 - End of 2017: 270
 - End of 2018: 284
 - End of 2019: 334
- Summary and evidence of work done to improve the value of membership, which leads to retention and growth of members
 - 7 technical meetings
 - Support to new student members

B.2 Chapter Activities

- Total number of Chapters in the Section
 - No chapters other than joint chapters.
- Number of Chapters formed in the current year
 - None

B.3 Professional and Continuing Education Activities

Summary of continuing Educational activities including conferences, technical activities, training courses, and distinguished lecture programs

The following 8 speakers were invited as educational/technical programs.

1. Schedule: Feb. 15, 2019, with IEICE Sapporo Section
 - Title: An Overview of Software Defined Networks and My Research Topics
 - Lecturer: Dr. Justin Lipman, Associate Professor of School of Computing and Communications, University of Technology, Sydney
2. Schedule: May 17, 2019,
 - Title: 5G Mobile Edge Computing: Research Roadmap of the H2020 5G-Coral Project
 - Speaker: Prof. Ying-Dar Lin, of National ChiaoTung University, Hsinchu, TAIWAN
3. Schedule: June 24-25, 2019, with Sapporo Section WIE
 - Title: Turbo Equalization; Its Information Theoretic Analysis and Relation to Lossy Forward Relaying Multi-Terminal Source Coding Systems
 - Speaker: Prof. Tad Matsumoto of Japan Advanced Institute of Science and Technology, Japan, and Center for Wireless Communications, University of Oulu
 - Title: Lossy Communications with Lossy-Forward Relaying and Lossy Coding
 - Speaker: Lin Wensheng of Japan Advanced Institute of Science and Technology, Japan
4. Schedule: Aug. 2, 2019,
 - Title: Privacy and Trust Issues in Vehicular Networks
 - Lecturer: Dr. Priyadarsi Nanda, Associate Professor of School Head of Electrical and Data Engineering, University of Technology, Sydney
5. Schedule: Aug. 27, 2019,
 - Title: 5G Mobile Networks – Technologies and Challenges
 - Lecturer: Prof. Abbas Jamalipour of Professor of Ubiquitous Mobile Networking School of Electrical and Information Engineering, The University of Sydney, Australia
6. Schedule: Nov. 19, 2019, with IEEE ComSoc Sapporo/ Shinetsu/ Tokyo/ Nagoya/ Shikoku/ Hiroshima/ Fukuoka Joint Sections Chapter
 - Title: The Evolution of Data Center Network Architectures
 - Lecturer: Prof. Suresh Subramaniam of George Washington Univ.
7. Schedule: Nov. 25, 2019, with IEICE Hokkaido Section
 - Title: Information Technology in the Automotive Industry (in Japanese)
 - Lecturer: Dr. Akira Takahashi of DENSO Corporation, Japan

Sapporo Section co-sponsored, technically co-sponsored, or supported the following three conferences including one domestic ones.

1. We co-sponsored a domestic conference named 2019 Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers which was held at Muroran Institute of Technology, Muroran, Hokkaido, Japan.

2. We supported 2019 Joint International Symposium on Electromagnetic Compatibility and Asia-Pacific International Symposium on Electromagnetic Compatibility (EMC Sapporo & APEMC 2019) which was held at Sapporo Convention Center, Sapporo, Hokkaido, Japan.
3. We supported the 26th International Display Workshops (IDW '19) which was held at Sapporo Convention Center, Sapporo, Hokkaido, Japan.

B.4 Students Activities

- Total number of Student Branches in the Section
 - Two student branches (Hokkaido University and Muroran Institute of Technology)
- Number of Student Branches formed in the current year
 - One (Muroran Institute of Technology)
- Section level student activities (student congress, paper and other contests, awards etc)
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Contest
We awarded thirteen (13) excellent student presenters at Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers.
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Awards
We awarded five (5) excellent student authors whose papers were published in the IEEE Transactions, Journals, and/or Proceedings.
- Number of active Student Branches (Student Branches who have reported required number of meetings during the year)
 - Two student branches (Hokkaido University and Muroran Institute of Technology)
- Summary of Student Branch activities (Student Branch wise with attachment table/information)
 - In 2019, Student Branches in Hokkaido University and Muroran Institute of Technology organized one special networking session in Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers to exchange their experiences in university life. This session was co-organized with IEICE Hokkaido University Student Branch.

B.5 Affinity Group Activities

- Young Professional (YP)
 - No YP in this section.
- Women In Engineering (WIE)
 - One technical meeting was jointly held with Sapporo Section and one lecture was jointly held with IEICE Sapporo Section.
- Life Member
 - No affinity group of this type in this section.

B.6 Awards & Recognition Activities

None

B.7 Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- Home Page of the Section (give the URL and how often it is updated)
 - Section's web page:
<https://www.ieee-jp.org/section/sapporo/>
 - Sapporo Section WIE:
https://www-lmd.ist.hokudai.ac.jp/WIE_Sapporo/
 - Student Branch at Hokkaido University
<https://csw.ist.hokudai.ac.jp/ieee/>
 - Student Branch at Muroran Institute of Technology
http://www3.muroran-it.ac.jp/enes/student_branch/
- Other means of contacts with Section members including social media
 - eNotice

B.8 Industry Relations

None

B.9 Humanitarian Technology Activities

None

B.10 Community Activities

None

PART C - OTHERS

C.1 Special Events

None.

C.2 Relationship with National and International Societies and Non-Government Organizations (NGO)

None.

C3. Collaboration with other IEEE Sections

None.

C.4 Support extended to Sub-sections & Society Chapters within the Section

None.

C.5 Best Practices of your Section (which you would like to share with other Sections for the benefits of members)

None.

C.6 Problems anticipated and suggestions for solutions, if any

None.

PART D - GOALS AND PLANS

D.1 Continuation of project/activity in progress and their implementation plans

We are planning to organize technical lectures, symposiums, workshops on topics of interests. In some cases, these might be in collaborations with other institutes.

D.2 Goals and Future Plans

- Increasing the membership
- Enhancing the student activities
- Nominations of members for Senior Member and Fellow of the Institute
- Providing better services to the members
- Establishing new student branches and/or a YP affinity group

D.3 Any innovative ideas to make IEEE more creative and value added for sustaining the membership retention and recruitment goals.

We do not have any actual ideas. We would like to discuss this issue in the section.

D.4. Business Plan for Sustainable Growth and Financial Stability.

We do not have any actual plan yet. We would like to discuss this issue in the section.

IEEE Sapporo Section 2019 年決算報告

収入

項目	予算額(Yen)	執行額(Yen)	備考
前年繰越金	1,547,195	1,547,195	
3.10) IEEE 本部から Section Rebate	384,522	380,100	手数料除く
3.16) IEEE 本部から Section Assessment	465,010	454,763	手数料除く
2.50) NVMSA2018 共催黒字分	0	1,102,205	
3.45) 利息	15	19	
収入合計	2,396,742	3,484,282	

支出

項目	予算額(Yen)	執行額(Yen)	備考
4.10) Meetings & Social Events	25,000	31,338	
4.60) Educational Activities(講演会費)	200,000	103,512	
4.80) Student Activities	150,000	299,634	
4.85) Grants & Awards	0	0	学生表彰は 4.80 に参入
4.90) Other Program Expenses(連合大会)	50,000	50,000	
5.20) Travel (Section 理事会)	50,000	48,760	
5.20) Travel (JC 理事会)	0	0	
5.50) Japan Council 運営資金	394,601	386,324	
5.60) Home Page 維持費	20,000	0	2 万円次年度へ繰越
5.60) 諸雑費(銀行手数料等)	10,000	3,156	
5.60) 事務委託費	10,000	0	例年 0 円
5.60) 予備費	30,000	0	例年 0 円
次年度繰越金	1,457,141	2,561,558	預金残高
支出合計	2,396,742	3,484,282	

項目中の数字は IEEE Financial Report のインデックス

預金残高: 2,561,558 円 (2019 年, 12 月末)

以下余白

以下余白

2020 年事業計画(案)

- 1) 第 1 回理事会(1st Section Executive Committee Meeting)
2020 年 2 月 17 日(Mon)
 - 2) 総会 (Annual Meeting)
2020 年 2 月 17 日(Mon)
 - 3) R10 Meeting への参加
2020 年 3 月 7-8 日@ホーチミンは中止、Web ミーティングとなる (大鐘 Chair 参加予定)
 - 4) 共催: 2020 年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会
2020 年 11 月 7 日(Sat)@北海道科学大学にて開催予定
会場の都合により 1 日開催
 - 5) 主催: 上記連合大会にて IEEE Sapporo Section Student Paper Contest 開催
 - 6) 第 2 回理事会(2nd Section Executive Committee Meeting)
2020 年 11 月 7 日(Sat), 支部連合大会会場にて開催予定
 - 7) TENCON2020@大阪への理事参加
2020 年 11 月 16-19 日、西村幹事、筒井北大 SB カウンセラは Supporting Committee 委員
 - 8) 各種講演会の主催(数件程度)
 - 9) 各種講演会への共催, 協賛
 - 10) 学生員奨励事業
 - 11) IEEE Sapporo Section Student Paper Awards 事業
- 5)に関連する申し合わせ事項
 - 連合大会での若手発表者から選定される Sapporo Section Student Paper Contest について, 電気学会から表彰されるものを除く(2018 年第 1 回理事会にて決定).
 - 8), 9)に関連する申し合わせ事項
 - 謝金のみを支出する場合は, 最大 3 万円とし, 他学会と共催の場合は均等割を原則とする (例: 電子情報通信学会と共催の場合は 1 万 5 千円の支出).
 - WIE 講演会は年 2 回の開催が IEEE から要求されている. Sapporo Section 講演会同様謝金最大 3 万円を支給してもよい(2018 年第 1 回理事会にて確認).
 - IEEE Sapporo Section 主催の旅費支給可能な講演会として, 最大 3 回を想定する. 1 回あたり最大 10 万円までの支出とし, この中から謝金(最大 3 万円), 旅費(実費), 宿泊費(実費), 日当を支給するものとする. なお, WIE 主催の講演会を含めてもよい.
 - 国際会議に協賛する場合, 協賛金は最大 2 万円とする.

➤ ~~講演会場の会場費は、理事会の審議により承認された場合は支出可とする（2019 年実績）~~

西村註＞第 2 回理事会で審議し、2021 年から制度化する見通しとなった。

- 10) に関連する申し合わせ事項

- 予算の執行状況をみて、必要ならば補助の減額，停止を行う．

2020 年予算案

収入

項目	予算額(Yen)	備考
前年繰越金	<u>2,561,558</u>	
3.10) IEEE 本部から Section Rebate	380,100	手数料除く
3.16) IEEE 本部から Section Assessment	454,763	手数料除く
3.45) 利息	19	
収入合計	<u>3,396,440</u>	

支出

項目	予算額(Yen)	備考
4.10) Meetings & Social Events ※1	<u>120,000</u>	TENCON 参加費
4.10) Meetings & Social Events	25,000	
4.60) Educational Activities(講演会費)	200,000	
4.80) Student Activities	<u>350,000</u>	
4.85) Grants & Awards	0	学生表彰は4.80に参入
4.90) Other Program Expenses(連合大会)	50,000	
5.20) Travel ※1	<u>240,000</u>	TENCON 参加旅費
5.20) Travel (Section 理事会)	50,000	
5.20) Travel (JC 理事会)	0	
5.50) Japan Council 運営資金	386,324	SA の 85%
5.60) Home Page 維持費	<u>40,000</u>	2019 年分を含む
5.60) 諸雑費(銀行手数料等)	10,000	
5.60) 事務委託費	10,000	例年 0 円
5.60) 予備費	30,000	例年 0 円
次年度繰越金	<u>1,885,116</u>	
支出合計	<u>3,396,440</u>	

- 項目中の数字は IEEE Financial Report のインデックス
- 2019 年第 2 回理事会での予算案に対する変更点
 - TENCON2020 の経費（参加理事の旅費 ¥240,000 と参加費 ¥120,000）※1
 - Student Activities を増額
 - Home Page 維持費の繰越分の追加
 - 繰越金の更新

以下余白

Student Member に対する奨励事業について

2020 年 4 月 1 日

IEEE Sapporo Section 会員各位,

IEEE Sapporo Section
Chair Takeo Ohgane
大鐘 武雄

平素は IEEE の学会活動に多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございます。
さて、IEEE Sapporo Section では 2020 年の企画として、Student Member の増員ならびに
IEEE における学会活動を促進するための奨励事業として、下記の支援を行うこととい
たしました。

(1) Student Member に対する学会発表支援

(2) 新入会 Student Member に対する学会活動支援

Student Member の増強、Student Member の国際会議での発表促進、及び Sapporo
Section の活発な活動を推進するためにご活用頂きますよう、よろしく願いいたしま
す。それぞれの支援事業の条件と内容については、下記をご参照ください。

(1) Student Member に対する学会発表支援について

1. 支援の条件と内容

(1) IEEE が主催し、~~日本国外で開催される~~国際会議において筆頭著者として発表を行
う場合、Registration Fee の一部を補助する(2020 年 4 月 1 日以降に開催される国際会議
に対して補助を行うものとする)。ただし補助の上限額を 1 万円とする。

(2020 年 1 月 1 日から同年 3 月 31 日までに開催された国際会議については、下記問い
合わせ先に別途、お問い合わせ下さい)

(2) 同一年内に、同一の Student Member が受けられる発表補助は 1 回とする。

(3) 予算の都合上、補助を減額もしくは停止する場合がある。

2. 申請の方法と補助金の受け取り

(1) 発表者は、会議の情報を確認できる資料(URL でもよい、Registration Fee が確認で
きることを)下記、問い合わせ先に電子メールにより送付すること。また、指導教員の氏
名・連絡先もあわせて送付すること。

(2) 補助が決定した場合、指導教員経由で補助金を支給するので、速やかに領収書を提
出すること。

(2) 新入会 Student Member に対する学会活動支援について

1. 支援の条件と内容

(1) 2020 年 4 月 1 日時点で未入会の道内大学大学院・学部生もしくは道内高専専攻科学生であること。同一学生が補助を受けることのできる回数は 1 回のみとする。

(2020 年 1 月 1 日から同年 3 月 31 日までに入会した場合には、下記問い合わせ先に別途、お問い合わせ下さい)

(2) 入会時の IEEE Membership Due (Student)相当額を補助する(*注 1)。

(3) 予算の都合上、補助を減額もしくは停止する場合がある。

2. 申請の方法

IEEE のホームページ <https://www.ieee.org/> から入会手続きを web 上で行ってください。手続き完了後、レシート画面を保存して、下記問い合わせ先にメールにて送付してください。日本円でお支払しますので、クレジットカード明細の該当部分等、日本円の額のわかるものも合わせて送付ください。

*注 1: 入会時期により IEEE Membership Due および Membership 有効期限が異なります。

https://www.ieee.org/membership_services/membership/join/join_dues.html

1 Mar 2020 から 15 Aug 2020 までの入会:

IEEE Membership Due: USD 13.50 (half-year rate)

Membership 有効期限: 31 December 2020

16 Aug 2020 から 1 Mar 2021 までの入会:

IEEE Membership Due: full-year rate (通常は USD 27.00)

Membership 有効期限: 31 December 2021

問い合わせ先

札幌市北区北 14 条西 9 丁目 北海道大学 大学院情報科学研究院

西村 寿彦

電話: 011-706-7396

E-Mail: nishim@ist.hokudai.ac.jp

2019 年第 3 回 IEEE Japan Council 理事会議事録

日 時：2019 年 12 月 4 日(水) 14:00～18:45

場 所：ガーデンエアタワー 28F プレゼンテーションルーム A

出席者：尾上 Chair、佐波 Vice Chair、滝嶋 Secretary、羽渕 Treasurer、大鐘札幌支部 Chair、
末松仙台支部 Secretary、加藤信越支部 Chair、徳田東京支部 Chair、
宇佐見東京支部 Vice Chair、穂積名古屋支部 Chair、梅田関西支部 Vice Chair、
野口四国支部 Chair、大久保広島支部 Chair、谷口福岡支部 Chair、福田 COC Chair、
梶川 SAC Chair、桑原 AC Chair、山田 IPC Chair、津田 Past Chair、杉江 Past Secretary、
眞田 Past Treasurer、白川 HC Chair、重松 LRSC 委員、竹村 YP Coordinator、
福田 President-Elect、南 MGAARC Chair、西原 R10 Director、
矢野 R10 WIE Committee Chair、
百武オブザーバ、事務局、セクレタリアシスタント、書記

議題：

- | | |
|--|---------|
| 1. 前回理事会議事録の確認（審議） | 資料（1） |
| 2. 2019 年 Japan Council 活動報告 | 資料（2） |
| 3. 2019 年 Japan Council 決算予想 | 資料（3） |
| 4. 常設委員会 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案 | |
| 4-1 Chapter Operations Committee | 資料（4-1） |
| 4-2 Student Activities Committee | 資料（4-2） |
| 4-3 Awards Committee | 資料（4-3） |
| 4-4 Industry Promotion Committee | 資料（4-4） |
| 5. Ad-Hoc 委員会 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案 | |
| 5-1 Long Range Strategy Committee | 資料（5-1） |
| 5-2 History Committee | 資料（5-2） |
| 6. Affinity Group 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案 | |
| 6-1 Women in Engineering | 資料（6-1） |
| 7. Coordinator 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案 | |
| 7-1 MD | 資料（7-1） |
| 7-2 YP | 資料（7-2） |
| 7-3 LMAG | 資料（7-3） |
| 8. 2021/2022 役員選挙スケジュールおよび Nominating Committee 選出（審議） | 資料（8） |
| 9. 各支部 2019 年活動計画および前回理事会以降の活動報告 | |
| 9-1 札幌支部 | 資料（9-1） |
| 9-2 仙台支部 | 資料（9-2） |

9-3 信越支部	資料 (9-3)
9-4 東京支部	資料 (9-4)
9-5 名古屋支部	資料 (9-5)
9-6 関西支部	資料 (9-6)
9-7 四国支部	資料 (9-7)
9-8 広島支部	資料 (9-8)
9-9 福岡支部	資料 (9-9)
10. 2020 年 Japan Council 活動計画 (審議)	資料 (10)
11. 2020 年 Japan Council 予算 (審議)	資料 (11)
12. その他	
12-1 TENCON2020 の準備について	資料 (12-1)
12-2 MGA Awards and Recognition Committee 関連の情報	資料 (12-2)
12-3 Section 支援費の考え方 (審議)	資料 (12-3)
12-4 Japan Council 旅費規程について (審議)	資料 (12-4)
12-5 IEEE 事務局 IT 化推進とメール配信ガイドラインについて	資料 (12-5)
12-6 Japan Office からの紹介	資料 (12-6)
[参考] メール審議報告	
[参考] Region 10 からのメール連絡一覧	

議事：

0. Chair ご挨拶

開会のご挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認 (審議) 【審議→承認】

資料 (1)

前回理事会(2019 年 7 月)議事録確認があり、異議なく承認された。

2. 2019 年 Japan Council 活動報告

資料 (2)

年間活動報告があった。Japan Council理事会を3回開催、常設委員会の活動として、Chapter Operations Committee (COC)、Student Activities Committee (SAC)、Industry Promotion Committee (IPC)、Awards Committee (AC) について、Ad-Hoc 委員会の活動として、Long Range Strategy Committee (LRSC)、History Committee (HC) について、また、Affinity GroupおよびJC Coordinatorの活動報告があった。国内学会との協力関係の推進として、MOU更新作業を継続した。その他、10月5日に東京にてIEEE Day 2019のイベントを実施した。

3. 2019 年 Japan Council 決算予想

資料 (3)

決算予測の報告があった。支出の部では SB 支援費、WIE、COC 等で報告待ちまたは審議中の案件を含む。審議中案件が実施されたのちに黒字になる見込みである。また、承認済みだが未払いの案件があり、予算との差額が生じていると補足があった。信越支部から新規に Section 支援費申請があり、2019 年開催なので本理事会で審議、承認頂きたいと発言があり、異議なく承認された。

4. 常設委員会 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案

4-1 Chapter Operations Committee

資料 (4-1)

2019年活動報告と2020年活動計画の説明があった。2019年の活動として、2019年11月末現在のChapter支援費の申請ベースでの実績額、Awardは23のChapterから36件の登録があったこと、Chapterホームページ運用状況を把握し積極的な運用を要請したことが報告された。2020年の重要課題への対応として、一事業当たりの支援額の上限を設定して運用を継続すること、Chapter毎の会員数、Activityの高さと実績に応じ、公平感のある支援分配を行うことが報告された。

また、Chapter支援費ガイドラインのレンタカー利用について、制限付きで利用を認めることが報告された。レンタカー利用にあたり、JCならびにCOCは有事の際の一切の責任を負わないこととしているが、COCはレンタカー利用による保険代金を支払うこと、保険代金の支払いについてガイドラインに掲載することは可能か、また、IEEEはボランティアをどのように考えているか質問があり、IEEEはボランティアに対してTravel Insuranceを提供しており、有事に対する基本的なカバーができていたことが回答された。IEEE Travel Policy等の規定を確認し、共有することが提案された。

Chapter支援費のSection移行については、アンケートを実施したが、全Chapterから回答を得ていないことや意見調整も必要なことから、今後も継続して検討をすることが報告された。

4-2 Student Activities Committee

資料 (4-2)

2019 年活動報告と 2020 年活動計画の説明があった。2019 年活動として、TENCON2019 Special Industry Track への派遣、新規 SB2 件の設立について報告があった。2020 年活動計画について、IEEE Student Branch Leadership Training Workshop の大阪開催、学生ランチ新設の促進、学生ランチの継続的活動の支援、R10 におけるイベントならびに海外支部とのイベントを通じた学生交流支援、支部 SAC との連携強化、を予定する。また、Probation についてはベストプラクティスのようなものの共有もあるとよいと発言があった。

4-3 Awards Committee

資料 (4-3)

活動状況の報告があった。JC AC の全体会合を 11 月 14 日に開催し、受賞数の推移の分析、各賞の推薦状況に関するノウハウ共有を行った。

R10 の状況として日本から 8 名程度フェローに昇格すると補足があった。また、COC では全 Chapter の Chair を集めた会議を 6 月と 11 月の年 2 回開催しており、これに合わせて何か一緒にやる計画を立案、その場で情報共有や呼びかけができるよう具体的な方法をとってもらえると有効と思うと発言があった。

4-4 Industry Promotion Committee

資料 (4-4)

2019 年活動報告および 2020 年活動計画の説明があった。2019 年活動として、MAW2019 支援(情報共有)、TENCON2019 SPECIAL INDUSTRY TRACK (SIT) 情報共有、ISCAS2019 での R10 Industry Forum、R10 Industry Relations Committee (IRC) など情報共有、企業会員にとっての IEEE の価値や企業会員増強施策について議論を実施した。企業会員のメリットについては議論を進めて課題を抽出できたが、具体的な施策にまで至っていない。

2020 活動計画について、MAW2020 支援、TENCON2020 SIT 支援、その他 TENCON2020 連携施策検討 (若手対象の論文講座等)、IEEE 企業会員増強施策の具体化、TENCON2020 大阪開催の年でもあるので、Japan Office や JC 幹部、MD とも協力した IEEE 企業会員増強を予定する。企業会員獲得の施策として、IEEE 2020 T-Shirts の作成と配布、日本語による IEEE 2020 PR チラシの作成、企業見学会・意見交換会の実施を進めて行きたい。

5. Ad-Hoc 委員会 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案

5-1 Long Range Strategy Committee

資料 (5-1)

第 3 回 IEEE Japan Council Long Range Strategy Committee 委員会議事録の説明があった。2020 年の予算案や旅費規程、Japan Council Nominating Committee の規程作りについての議論を進めた。また、LRSC として長期的検討課題と短期的検討課題のそれぞれを議論した。

5-2 History Committee

資料 (5-2)

2019 年活動報告および 2020 年活動計画の説明があった。Milestone の状況について、12 月 18 日に富士通が HEMT の Milestone を受賞した。現在 3 件の申請があり、全件アドボケートが決定している。Milestone の発掘については、5 件の申請準備が進んでいると報告があった。

6. Affinity Group 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案

6-1 Women in Engineering

資料 (6-1)

2019 年の活動として、委員会、役員会、主催イベント 3 件、共催イベント 5 件を実施したことが報告された。JC WIE の支部移行が 2019 年中に完了できなかったのも、2020 年も継続して取り組むこと、各支部に WIE 設立の意向調査を行うことが報告された。またこれに伴い、JC WIE 執行部は支部移行完遂まで、現在の体制で任に当たることが報告された。

7. Coordinator 2019 年活動報告、2020 年活動計画案および予算案

7-1 MD

資料 (7-1)

2019 年活動として、Japan Office と連携し、MD kits を利用した会員獲得の展開を積極的に進めたところ、各 Chapter の 18 行事で使用されたこと、JC MD WEB 会議を開催し、課題の共有や意見交換を行ったことが報告された。2020 年の活動として、各支部 MDC との情報共有、Japan Office や他 Committee との連携を継続することが報告された。今後 SAC ならびに YP とも直接的、計画的な連携を行っていく。

7-2 YP

資料 (7-2)

2019 年活動概要と 2020 年計画について報告があった。2019 年活動概要として、R10 Conference Leadership Program に参加したこと、青森県むつ市第二田名辺小学校における出張授業を開催したこと、TENCON2019 では現地 YP との交流においてハッキングコンテスト YESIST について日本での実施方法を具体的に議論できたこと、Japan SYWL WS を開催したこと、11th キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテストを開催したこと、仙台支部 YP が 6 月に立ち上がったことが報告された。

2020 年計画について、YP Affinity Group の拡大、YP 活動の更なる発展を目標に、R10 SYWL Congress2020・TENCON2020・MAW2020 への参加、Pre university 層に対する出張授業開催、12th キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト開催、YP ボランティア募集の呼びかけを行う。TENCON2020 では、海外 YP を巻き込んだ WS の併催を計画しており、予算は YP Global Fund より獲得予定であることが報告された。

TENCON2020、Section Congress 2020 などにおいて、YP に限らず JC として存在感を示せる活動をお願いしたいと意見があった。

7-3 LMAG

資料 (7-3)

本年発足した Sendai LMAG と、10 月 30 日に Korea University にて開催された Seoul LMAG の設立記念イベントに、LMAG Coordinator が招聘され講演した。また、JC LMAG メンバー数の割合や、IEEE 全体における LMAG の状況の報告があった。

8. 2021/2022 役員選挙スケジュールおよび Nominating Committee 選出 (審議)【審議→承認】

資料 (8)

選出は MGA Operation manual、Japan Council Bylaws、JC 運営の細則にしたがって行う。今までの細則等を補足する意味で NC の運営の細則として提出した資料に沿い、Committee の構成、役員候補者の推薦人、選挙の手順について審議がなされ、異議なく承認された。

承認を受け、役員選出のスケジュール説明があった。Past Secretary が NC Chair に指名され、承認された。また、Chair、Past Chair、福岡支部 Chair に NC 委員をお願いすることになり、了承された。

9. 各支部 2019 年活動計画および前回理事会以降の活動報告

9-1 札幌支部

資料 (9-1)

2019 年活動状況報告と 2020 年事業計画案の説明があった。室蘭工業大学 SB 設立イベントに参加、本イベントは北海道大学 SB と合同開催で北海道大学からも参加があり、学生 30 名、教員 10 名が参加、札幌支部としては大きなイベントであった。本イベント後、新規入会が 20 名程度あり、SB 設立が非常に役に立った。

9-2 仙台支部

資料 (9-2)

2019 年事業報告と 2020 年事業計画の説明があった。2019 年事業として、MAW 2019 in Sendai、SYWL WS 共同企画、Sendai LMAG 設立記念シンポジウムの報告があった。アンケートを実施し、結果は好評であった。また、電気関係学会東北支部連合大会企画セッション、Sendai YP 設立、「R10 Best Membership Retention Medium Section Award」の受賞、「2019 Outstanding Section Membership Retention Performance」および「2019 Outstanding Section Membership Recruitment and Retention Performance」の認定などが報告された。2020 年事業計画では、WIE・LMAG・YP・SB の連携、合同事業などの検討を行う。

9-3 信越支部

資料 (9-3)

2019 年活動状況報告と 2020 年活動計画の説明があった。2019 年活動として、役員会を 3 回(4 回目は未定)、IEEE セッションおよび学生表彰、長岡技術科学大学と新潟大学でディスカッション、電子情報通信学会・信越支部大会にて SSB ポスターセッション、Joint Workshop of IEIE JB and IEEE Shin-etsu SSB(12 月予定)、ほか講演会を実施した。予算執行状況はほぼ例年通りである。2020 年活動計画では、例年同様の実施を計画している。予算案は例年通りである。

9-4 東京支部

資料 (9-4)

2019 年活動報告と 2020 年活動計画の説明があった。2019 年活動として、理事会・支部講演会の実施、Tokyo SYWL WS & IEEE Day Party 2019 開催、YP イベント、LMAG イベントの実施などが紹介された。12 月 18 日に「HEMT」Milestone 贈呈式を予定していること、IEEE Tokyo Bulletin No.119 およびメルマガを発行した。2020 年活動として、理事会・支部講演会の開催、SB・JC WIE との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進、Milestone 認定支援、IEEE Fellow の推薦支援、会員数の増強、Industry Promotion 活動の強化などを行う。

9-5 名古屋支部

資料 (9-5)

2019 年活動報告と 2020 年活動計画の説明があった。2019 年活動として、役員会・授賞活動の実施、Milestone の申請や準備、WIE 設立記念イベントの開催、日本ガイシと豊田中央研究所の 2 社に対する IEEE MGA Award 授与申請が IEEE 本部より承認され、12 月 14 日に授与式を開催予定、Convene 2021 誘致検討、LMAG-Nagoya シンポジウムの開催、企業見学イベントを

実施した。2020年の活動は、Fellow Nomination と Senior Member への昇格、IEEE 名古屋支部学術奨励賞の拡充、SB 新設、WIE の支援、Milestone の申請、など概ね 2019 年と同じである。

9-6 関西支部

資料 (9-6)

2019 年活動報告と 2020 年活動計画の説明があった。2019 年活動報告について、現時点の財政状況に比較的余裕があることを踏まえ、新規イベント 2 件を期中に企画し実施した。2020 年活動計画について、繰越金を有効に使い、支部の活性化あるいは会員増強に焦点を当てて取り組む。2019 年度に試行した新規イベントを定着させ、さらに新たな取り組みを検討する。2020 年予算計画について、2019 年新規 2 イベントの規模を拡大、Section 支援費を充てて実施し、活動を活性化していきたい。

9-7 四国支部

資料 (9-7)

2019 年活動報告と 2020 年活動計画の説明があった。2019 年活動として、総会を実施、講演会を開催、英語ブラッシュアップセミナーを香川大学、愛媛大学、徳島大学にて 3 回開催した。2019 年予算実行状況は例年通りである。支出のうち、CAS Chapter Rebate の実績が空欄であるが 12 月上旬に執行されている。2020 年活動計画の目玉として、2020 年 12 月 8 日～11 日、かがわ国際会議場にて開催される国際会議 IEEE TALE2020 を共催する。

9-8 広島支部

資料 (9-8)

2019 年活動報告と 2020 年活動計画の説明があった。2019 年は、講演会、国際会議・シンポジウム後援、IEEE 広島支部学生シンポジウム(HISS)の主催、MAW2020 開催に向けた課題検討を実施した。2020 年活動計画は 2019 年とほぼ同じである。本理事会で MAW2020 開催承認を得たので進める。日程は 10 月 16 日、10 月 9 日、11 月 27 日を候補としている。予算案には MAW2020 関連は含まれず、別途計上する。

9-9 福岡支部

資料 (9-9)

2019 年年間活動報告と 2020 年年間活動計画の説明があった。2019 年活動で特筆すべきものとして、申請予定の IEEE Okinawa Chapter 準備会として、2019 沖縄未来半導体研究会を実施した。9 月に琉球大学の先生達を中心にした Chapter が一つ立ち上がった。2020 年年間活動計画は 2019 年同様の活動を予定する。予算も例年通り。会員数が少なく、WIE も他支部との Joint が必要、また SB も 2 つなのでもう 1 つ増やしたい。2020 年 JC 第 2 回理事会を 7 月 31 日に沖縄で予定している。

10. 2020 年 Japan Council 活動計画 (審議)【審議→承認】

資料 (10)

資料説明があり、異議なく承認された。2019 年活動計画と共通部分が多いが、WIE 活動の支

部移行の完遂、財務管理の強化に基づく予算の一層の有効活用、運営フローの改善等による活動関係組織や事務局の業務効率化、TENCON2020の支援を追記している。国内学会との連携に関しては、更新されたテンプレートに基づきMOUの更新を行う。

主催/共催/協賛/後援の定義が明文化されていないため、共催/協賛という用語だけでなく、具体的な役務ごとに、契約面での条件を決めるというCOCでの検討を起点としてコンセンサスを図りたい。

11. 2020 年 Japan Council 予算（審議）【審議→承認】

資料（11-1）

資料説明があり、異議なく承認された。資料は繰越金の誤記を訂正、為替レートは103円/ドルで、SAの還元率は15%で立案している。支出は、役員改選やIPCの活動拡大に伴う理事会・各委員会費の増額、各活動拡大に伴うSB支援費とWIEの増額などが変更点である。MAW等は予算が確定していないため、予備費に計上している。2020年はRegion10の会議、Section Congress、TENCON等予定するが、見込みが立っていないため、予備費に計上している。Section支援費については、別途メールベースで意見を求めることとなった。

12. その他

12-1 TENCON2020 の準備について

資料（12-1）

TENCON2020について説明があった。各支部に対し、MOUの支部内合意、TENCON2020 Japan Sections Supporting Committee委員に各Sectionあたり2名の選出依頼があった。会議概要、予算計画、およびCall for Papersの説明があった。WEBサイトは構築中で近日開設する。

MOUの早めの提出、WEBサイトの表示、IEEEポリシーにより非会員の会費は会員の120%以上になるようにすることなどの依頼があり、了承の旨回答があった。

12-2 MGA Awards and Recognition Committee 関連の情報

資料（12-2）

資料説明があった。2019 MGA Individual Awardsおよび2019 Friend of IEEE Member and Geographic (MGA) Activities Awards(追加)受賞者選考のそれぞれについて、12月中旬までにMGAより結果発表予定である。

12-3 Section 支援費の考え方（審議）【審議→メール審議】

資料（12-3）

Section支援費の考え方の資料について説明があった。前回理事会で承認を受けたが、語句等に誤りがあり修正した。また、支部負担割合について、支部規模（Large/Middle/Small）に応じた割合とした。本案件は改めてメール審議とする

12-4 Japan Council 旅費規程について（審議）【審議→メール審議】

資料（12-4）

Japan Council 旅費規程についての資料について説明があった。宿泊費や交通費等について細かく提示することで規程を使い易くすることを狙った。支払いを受ける際には必ず領収書を提出

して頂きたい。また、本規定は JC の規定であって、支部内においては各支部で対応するよう
との説明があった。本案件は改めてメール審議とする。

12-5 IEEE 事務局 IT 化推進とメール配信ガイドラインについて 資料 (12-5)

IT 化推進については別途アンケートをお願いする、メール配信ガイドラインについては、問
い合わせを頂くので、誰がどのような配信ができるかの基準を具体化したと説明があった。

12-6 Japan Office からの紹介 資料 (12-6)

Office の沿革、スタッフ、主な活動内容、メンバーシップ、国内の各機関および団体との関係
強化、ボランティア支援と協働、2020 年の活動計画等の説明があった。

[参考] メール審議報告

[参考] Region 10 からのメール連絡一覧

[その他]

Region Realignment について報告があった。継続審議だが、R10 としては option2 (R10 を 2
つに分ける)、次いで option3 (R8 と R10 を 3 つに分ける) の順に支持を受けている。引き続きご
意見を伺うのでよろしくお願いしたい。

Retreat は 1 月 18 日～21 日に博多にて実施すること、スマートフォンによる IEEE アプリの
紹介があった

2020 年第 1 回理事会は、4 月 8 日に開催することが周知された。

以上

2019 IEEE Sapporo Section Student Paper Awards 受賞者

- Best Paper Award
 - Jianwen Xu, Kaoru Ota, Mianxiong Dong, "Real-Time Awareness Scheduling for Multimedia Big Data Oriented In-Memory Computing," IEEE Internet of Things Journal, vol. 5, no. 5, pp. 3464-3473, October 2018.

- Encouragement Award
 - K. Maeda, S. Takahashi, T. Ogawa, and M. Haseyama, "Estimation of Deterioration Levels of Transmission Towers via Deep Learning Maximizing Canonical Correlation Between Heterogeneous Features," IEEE Journal of Selected Topics in Signal Processing, vol. 12, no. 4, pp. 633-644 2018.
 - S. Kawai, A. Iguchi, and Y. Tsuji, "Study on high precision and stable finite element beam propagation method based on incomplete third order hybrid edge/nodal element," IEEE/OSA Journal of Lightwave Technology, Vol. 36, No. 11, pp. 2278-2285, June 2018.
 - A. Koda, K. Morimoto, and Y. Tsuji, "A study on topology optimization of plasmonic waveguide devices using function expansion method and evolutionary approach," IEEE/OSA Journal of Lightwave Technology, Vol. 37, No. 3, pp. 981-988, Feb. 2019.
 - Y. Sawada, T. Sato, T. Fujisawa, and K. Saitoh, "Development of the wavefront matching method based on the 3-D finite-element method and its application to Si-wire mode converters", IEEE/OSA Journal of Lightwave Technology, vol. 36, no. 17, pp. 3652–3659, Sept. 2018.

2019 IEEE Sapporo Section Student Paper Contest 受賞者

- Best Presentation Award
 - Keita Sakakibara, Hokkaido University
Development of Novel 70GHz Band Exposure Equipment System for Studies on Thermal Perception Thresholds of Biological Effects Exposed to Millimeter-Wave
 - Kazuki Nunokawa, Muroran Institute of Technology
Robustness for fingertip tracking with degraded image using Ranking Orientation Features with Bag-of-Features
 - Tatsuhiro Akiyama, Muroran Institute of Technology
A Method for Boat Type Classification Using Multimodal Learning
- Encouraging Prize
 - Takeshi Sato, Hokkaido University
Temporal variation of the electron velocity distribution under AC electric and DC magnetic fields
 - Yukito Okubo, Muroran Institute of Technology
High-temperature and high-pressure synthesis of Cu₂-xS nanoparticles using thiolate
 - Yuya Moroto, Hokkaido University
A Note on Emotion Estimation Based on Sparse Bayesian Learning Considering Time Change of Visual Attention
 - Naoki Ogawa, Hokkaido University
A Note on Visualizing Attention Map of CNN Based on Grad-CAM++
 - Saya Takada, Hokkaido University
A Note on Regions of Visual Cortex Used for Reconstruction of Images from fMRI data
 - Yurina Kano, Muroran Institute of Technology
A Study on Membership Function of Multiple Hypothetical Fuzzy Model for Handwritten Figure Recognition
 - Gege Wang, Hokkaido University
Prediction of Fun of Japanese Puns using Support Vector Machine